



白鷗大学 2018～2020 年度 海外派遣報告

1. はじめに

本学では、全学生を対象とした海外研修・交換留学制度と、経営学部生対象の海外留学プログラムがあります。いずれのプログラムも異文化の中で実体験から学び、外国語を使ったコミュニケーション能力を身に付けることを目的としています。帰国後、多くの学生は外国語や異文化への関心を深め、海外で学んだ経験を生かして、次なる目標に向かって行動を始めます。

インターネットで他国の情報を得られる時代ではありますが、実体験から感じ、学び、身に付けたことは一生忘れません。海外研修、交換留学での「実体験」がグローバル人材を作り上げていく一つの要素ともいえるでしょう。

本学創立者の故上岡一嘉初代学長は著書「異文化理解に学ぶ」の中で、今や世界のガンは民族問題だろうか。人間の愛情と理性が人間に普遍的な属性であるはずだ。イデオロギーの相違、皮膚の色、宗教や文化の違いを克服できないとは、義理にもそんな人間を賢いとは言えないのではないだろうか。と書いています。本学はこのメッセージを基本に相互理解、異文化理解を深める国際交流・留学プログラムを進めています。

2. 本学主催海外研修

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、2020年海外派遣研修はすべて中止となりました。

ハワイ大学研修 アメリカ合衆国

研修先 : ハワイ大学マノア校、ハワイ大学コミュニティーカレッジ

単位認定 : 随意科目 1 単位

プログラム内容: 現地学生との交流、ハワイ文化授業及び体験、フィールドトリップ(ホテル、旅行会社、幼稚園、小学校、裁判所、弁護士事務所等)

	2018	2019	2020
参加人数	38 人	63 人	中止
期間	8/28～9/4	8/27～9/3	

インディアナ大学研修 アメリカ合衆国

研修先 : インディアナ大学パデュー大学インディアナポリス校

単位認定 : 随意科目 2 単位

プログラム内容 : 現地学生との交流、英語授業(会話、文法、リーディング、ライティング、プレゼンテーション)、文化授業、フィールドトリップ(Japan-America Society of Japan、スポーツ施設、ミュージアム、学校等)、ホームステイ



	2018	2019	2020
参加人数	21 人	30 人	中止
期間	8/29～9/11	9/1～9/14	

台湾研修 台 湾

研修先 : 銘伝大学、南台科技大学

プログラム内容: 現地学生との交流、中国語、講義台湾について(歴史、文化、経済、交通)、史跡訪問

	2018	2019	2020
参加人数	27 人	中止	中止
期間	3/1～3/8		



3. 海外協定校主催海外研修

檀国大学(韓国、京畿道)

プログラム内容: 現地学生との交流、午前韓国語レベル別クラス受講、午後のクラスでは韓国文化体験(キムチ作り、映画、陶芸、テコンドー、伝統音楽、伝統ダンス、K-ポップダンス)

	2018	2019	2020
参加人数	19 人	3 人	中止
期間	8/6～8/24	8/5～8/23	

南台科技大学(台湾、台南)

プログラム内容: 現地学生との交流、午前中に中国語レベル別クラス受講、午後のクラスでは台湾文化体験(客家の藍染め、茶道、フィールドトリップ)

	2018	2019	2020
参加人数	19 人	中止	中止
期間	8/12～8/25		



4. 交換留学(期間半年～1年)

白鷗大学の協定校一覧

大学名	国	地域
インディアナ大学パデュー大学 インディアナポリス校 (IUPUI)	アメリカ	インディアナ
トライン大学	アメリカ	インディアナ
州立タコマコミュニティカレッジ	アメリカ	ワシントン
州立ベルビューカレッジ	アメリカ	ワシントン
州立サンバーナディーノ校	アメリカ	カリフォルニア
州立ハワイ大学マノア校	アメリカ	ハワイ
州立ハワイコミュニティカレッジ (7つのカレッジがあります。)	アメリカ	ハワイ
州立ヴィクトリア大学	カナダ	バンクーバー
南台科技大学	台湾	台南
銘伝大学	台湾	台北・桃園
伝媒大学	中国	北京
伝媒大学南広学院	中国	南京
檀国大学	韓国	竹田・天安
ベルゲン大学	ノルウェー	ベルゲン
タマサート大学	タイ	バンコク
タイ国立開発研究所大学大学院 (NIDA)	タイ	バンコク
サンパウロ州立大学パウリスタ (UNESP)	ブラジル	サンパウロ州
パリ大学東クレイユ	フランス	パリ
サイモン・クズネッツ記念ハリコフ国際 経済大学	ウクライナ	ハリコフ



交換留学派遣者数

	2018	2019	2020
インディアナ大学	2人	2人	中止
檀国大学	0人	1人	
銘傳大学	2人	0人	
南台科技大学	1人	3人	

5. 経営学部留学プログラム(期間 3 カ月～4 カ月)

経営学部留学プログラム参加者数

	2018	2019	2020
タコマコミュニティーカレッジ	14人	12人	中止
ビクトリア大学	15人	15人	

6. オンライン交流

インディアナ大学交流

参加者数 本学 9 名(留学生及び日本人学生)及びインディアナ大学 13 名の学生

内容 全 3 回(自己紹介ビデオの作成、YouTube での共有、テーマに沿ったビデオ撮影、ビデオ感想の交換、同時双方向の Zoom 交流)

銘傳大学・南台科技大学交流

参加者数 計 15 名(本学、銘傳大学、及び南台科技大学の学生)

内容 Zoom での交流(挨拶、本学の紹介、日本の留学生活、パネルディスカッション、グループ交流)





7. まとめ

短期研修(7日間から1ヶ月程度)のプログラムでは、異文化生活体験及び現地学生との交流を基本に、次のステップである中長期の留学プログラム(3ヶ月から1年程度)や他国への関心に繋げることを目標にしている。

実際、短期研修に参加した学生のアンケート結果によると、外国語の勉強意欲は高まりましたか?、異文化理解が深まりましたか?、また海外に行ってみたいと思いましたか?といった設問の回答は9割以上がそう思うであった。学生に訊いてみると、海外では色々な人がいて、日本では身近にいないタイプの人と会って話すことが楽しかった。それに、ファッション、食べ物、言語、考え方までもがとてもユニークで刺激になった。機会があれば、他国へ行き新たな友達を作りたい。そのためにも長期の留学に挑戦しコミュニケーション能力を高めたい!と短期間の研修であっても次の目標である、他国への関心に繋がっているようだ。

中長期留学では、入学時に受けた TOEIC では平均が 350 点であったが、留学後は 510 点に上がり、中には 800 点台に達する学生も出ている。卒業後の進路は、商社や自動車関連会社に就職し、海外との取引部門で活躍したり、旅行会社で中国旅行プランニング及び添乗でリピーターを増やしている卒業生もいます。

今後、これらの海外プログラムを更に良いものにするためにも、出発前のプログラムで個々のコミュニケーション能力を高めることと、帰国後のモチベーションをサポートする留学生との交流プログラムを充実させていきたい。